



～近江町で働く人たちが綴る、おみちよのホンネマガジン～



お!のある暮らし 17 2021春

あなたが来ると
おみちよは元気。

皆さまに支えられて300年。



大事な
お知らせ

近江町市場から皆様へ



2021年の おみちよについて

昨年は新型コロナウイルスのため、さまざまなイベントを中止とさせていただきます。今年は昨年の経験を踏まえ、十分な防止予防策を取り、親子おみちよ体験、近江町ふれあい講座をはじめ、皆さまにお楽しみいただけるイベントを開催させていただきます。

内容や日程などの詳細は近江町市場ウェブサイト・各種SNSにて発信いたしますので、ぜひご覧ください。

お!のある暮らし 2021春 17

2021年3月31日発行

バックナンバーはこちらの
QRコードから読むことができます。



●企画・発行：

お!のある暮らし 編集部

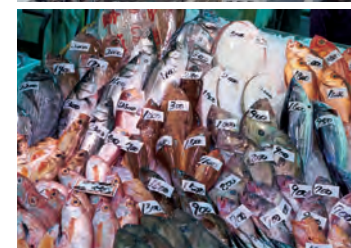
〒920-0905 金沢市上近江町50番地

TEL: 076-231-1462

Mail: olife@ohmicho-ichiba.com

<https://ohmicho-ichiba.com>

お!のある暮らしでは、取り上げて欲しいものやおみちよへのご要望・ご質問などを募集しています。
詳しくはメールまたはお電話にてお問い合わせ下さい。



編集後記

「お!のある暮らし」をお読みいただき、ありがとうございます。
暖かな春がやってきました。どんな状況の中でもこの季節がやってくると嬉しくなります。この二年で料理をする機会が増えたので、春の味覚をどのように味わおうかということを楽しみにしています。さて、今年は近江町市場開設300周年ということで、感染拡大防止対策を万全にしている限り、限りのことをやっていきたいと考えております。皆さま、気兼ねなく過ごせる日々まではもう少しかかりそうですが、また次号、元氣にお会いいたしましょう。

お!のある暮らし編集部



イベントスケジュール

2021	4 APRIL	春の感謝セール 毎年恒例の春イベント 300年ならではの企画も! おみちよプレミアム商品券販売 春のおみちよラリー 期間中、駐車場1時間無料	近江町市場の魅力を発信 おみちよチャンネル公開 近江町市場の魅力を発信	300年の歴史を振り返る おみちよ歴史ギャラリー 毎月第3金曜日 各店お得な情報を発信! P 駐車場1時間無料
	5 MAY			
	6 JUNE			
	7 JULY			
8 AUGUST	夏のおみちよラリー 8月 子ども絵画コンクール 子どもたちが描いた絵を場内に展示! スタンプを集めて おみちよ お買物券 をもらおう!	近江町市場の魅力を発信 おみちよチャンネル公開 近江町市場の魅力を発信	300年の歴史を振り返る おみちよ歴史ギャラリー 毎月第3金曜日 各店お得な情報を発信! P 駐車場1時間無料	
9 SEPTEMBER				
10 OCTOBER				
11 NOVEMBER				
12 DECEMBER	秋のおみちよラリー スタンプを集めて おみちよ お買物券 をもらおう! 大小様々な行燈が 市場を盛り上げる! 秋のおみちよラリー スタンプを集めて おみちよ お買物券 をもらおう! いろんな動画を 随時公開!	近江町市場の魅力を発信 おみちよチャンネル公開 近江町市場の魅力を発信	300年の歴史を振り返る おみちよ歴史ギャラリー 毎月第3金曜日 各店お得な情報を発信! P 駐車場1時間無料	
1 JANUARY				
2 FEBRUARY				
3 MARCH				

近江町市場 開設300年 特設サイト

300年の歴史や300年記念事業、活動についての情報をまとめています。

近江町市場

楽しく学べて役立つ動画 **おみちよチャンネル** スタート!

300年を機に、ついにYouTubeチャンネルを開設。

様々な近江町市場の知識やお役立ち情報、おもしろ技から驚きの技術まで動画でお伝えします!

近江町市場の魅力を発信 **おみちよサポーター**

近江町市場が好き! 近江町市場の魅力を伝えたい! というあなた! ぜひ一緒に近江町市場を盛り上げませんか。

300年の歴史を振り返る **おみちよ歴史ギャラリー**

場所: 近江町ふれあい館 会議室

近江町市場の始まりって? 100年前の市場とは? 江戸・明治・大正・昭和・平成を振り返ります。

昔懐かしい写真や貴重な資料など市場の歴史を振り返るギャラリーを期間限定で公開します。



近江町市場は皆さまに支えられ 開設300年を迎えました。

近江町市場では今年一年、ありがとうの感謝を込めてさまざまなイベントを開催いたします。春・秋には毎年恒例のイベントを、夏・冬にはおみちよラリーを開催。

また、毎月第3金曜日は市民感謝デーとして、なんと駐車場1時間無料サービス。さらにおみちよの歴史を写真と資料から学べるギャラリーを開催したり、おみちよを好きなみなさまにサポーターになってもらったり、Youtubeにておみちよの情報を発信していこうと考えております。節目の開設300年から次の一步をみなさまと一緒に歩んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお祈ひします!

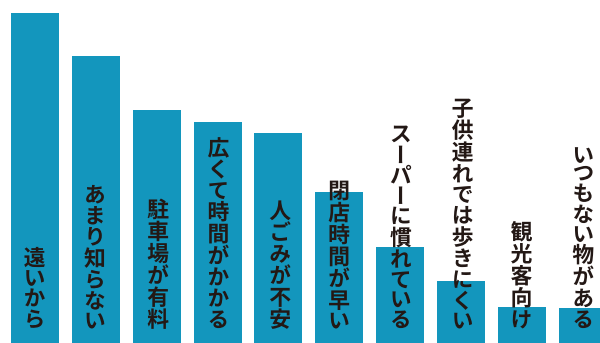
※ご来場いただく皆様が安心してお買物ができるように近江町市場全体で新型コロナウイルス対策を行っております。

これまで近江町市場にあまり行ったことのない人たちに
足を運んでもらうためにどうすればいいのかな？

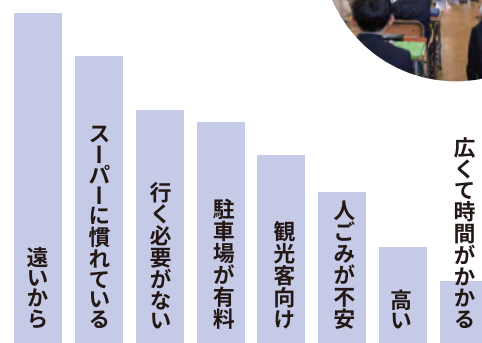


そもそも近江町にはどれくらいの人が行ってるのかな？
まずは家族や周りの人たちに聞いてしらべてみよう！

Q なんでみんな近江町市場にいかないんだろう？
そもそも自分たちも行ったことがないのはなんでだろう？

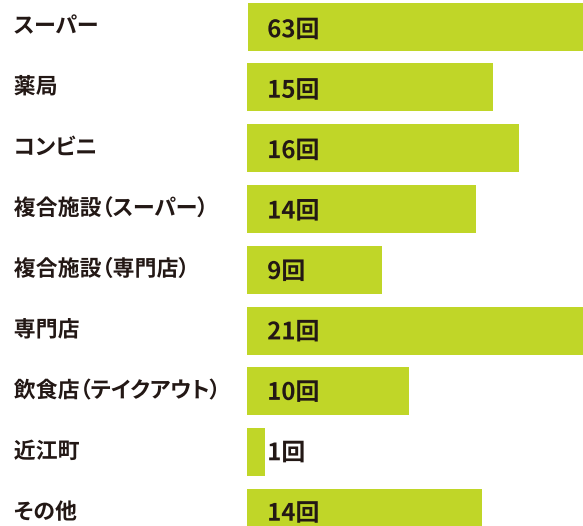


私たちの家族があまり近江町市場に行かない理由
(金沢大学附属小学校複式学級調べ 回答数43・複数回答あり)



子育て世代の地元客があまり近江町市場に行かない理由
(金沢大学附属小学校複式学級調べ 回答数72・自由記述)

Q みんなはどこで買い物をしているんだろう？



1週間の間に買い物に行った場所 (金沢大学附属小学校複式学級調べ)

一方で
こんな
データも

1日の来客数の比較
(2019.6～2019.8)

スーパー 約2,000人
(一般社団法人全国スーパーマーケット協会調査)

近江町市場 約14,000人
(近江町市場商店街振興組合調査)

近江町って
たくさん人が
来てる!!



もっとおみちよが盛り上がるために

近江町市場は開場300年を迎え、これからまた新しい歴史を紡いでいきます。

今回はこれからの近江町を支えてくれる子供たちに「近江町」の魅力を伝えてもらいます。

これまで近江町市場のことをほとんど知らなかった子どもたちが
近江町を知り、実際に体感してみて、どのようなことを魅力と感じたのでしょうか。



以前の「お！のある暮らし」の企画で、近江町市場の人たちの座談会のコーナーがありました(14号参照)。そこで、「これから近江町は変わっていかねばならない」と話している姿を見て、長い歴史を積み重ねてきた近江町が変わろうとする中、正解がないことに大人が試行錯誤していることに子どもたちが参画させてもらえるならば、これ以上ない学びになると思ったし、その視点が近江町の変化に繋がる一助になると考え、近江町市場をテーマとして学習していこうと考えました。

大切にしたのはまず近江町市場を知ることからはじめ、その上で今の近江町の現実を目の当たりにすること。その上で自分たちはどうしたいのか、何ができるのかということを考えていきました。

そしてテーマとしたのが、「これまで近江町市場にあまり行っていない地元客を呼び込む」こと。子どもの視点で近江町を体感したことを発信させていただきますので、ぜひご覧ください。



金沢大学附属小学校 福田先生

人 のこと



近江町での「お買い物」とは お店の人から商品を買うことです

どのように調理すればいいか質問した時、優しく教えてくれました。だから家に帰った後、とても美味しい魚料理を食べられて、家族みんながニコニコ笑顔になりました。



一年を通してお客さんが楽しくなるようなイベントを開催しています。そのイベントは全て近江町市場がお客さんのことを第一に考え、大事に思っているからこそやっているんだと感じました。

近江町市場のお店の人には「みんなで未来のためにがんばろう!」という思いがあります。課題を抱えながら、歴史を守りつつ、明日を変えようとしているところが素敵だと思いました。

地元客も観光客も楽しめるお店があります。地元客向けのお店はいつも食べている魚が安く売られていて、観光客向けのお店ではカニなど特別な商品が売られていますので、合ったお店をぜひ探してみてください。

お店ごとの強みがあると、お客さんの間で、「○店のトマト最高!」や「□店のかぼちゃ、お味噌汁にいれたらおいしかった!」などの声が広がり、いろいろなお店のいい部分を知ることができます。

商品 のこと



プロの料理人が認める旬の食材が いつでも揃っています

加賀野菜や魚など、どんな食材も揃います。それだけではなく、銀行や服屋など、普通のスーパーにはないようなものも売っていて、いろんなお客さんに満足してもらえるのが近江町市場です。

本当は高く売りたいはずなのに、お客さんのためにギリギリまで安い値段で売ってくれています。こっそりおまけをくれた時はびっくりしたけど、「やった!」と笑顔になっちゃいました。

近江町には、加賀野菜や旬の魚、果物など、その時にしかない珍しいものがたくさんあります。しかもそれらはプロの料理人が買っていくほどの美味しさです。

プロの料理人が来るということは、それだけ美味しくて新鮮な食材が売っているという証拠です。だからお客さんにも満足してもらえます。

その場の空気を明るくする優しい声かけです。その場の空気を明るくしてくれるということは、みんなや自分の会話が弾んで楽しくお買い物ができます。

会話がはずみ、そのおかげで買い物が楽しくなり、「また行きたいな」という気持ちになります。



みんなに伝えたい 近江町市場のこと

子どもたちは実際に近江町を訪れて、どのような部分が心に残ったのでしょうか。そこで、近江町における人・お店・商品・市場そのものについて、感じたこと、思ったことを書いてもらいました。原文は下の QR コードから読むことができますので、見てみてくださいね。



市場 のこと

近江町の人たちは 常にお客さんのことを 考えています

市場の人たちは「お客さんはどうやって来られるかな」「どうしたらもっと近江町のことを知ってもらえるか」ということを一生懸命考えてくれていて、それがとってもいいところだと思います。



お店 のこと

お店ごとに 売ってる商品が違うって面白い!

お店は「商品」のことをとても意識しています。すると、○店では形は気にしない分安い、□店は少し高いけど見栄えがいいなど、お店ごとの特徴ができるので、お客さんはそのときどきの目的に合わせたお買い物ができます。

わたしたちが

近江町市場のためにできること



先日近江町をテーマにした団扇を製作した生徒のみなさんが近江町市場のために何かできないかと考えたのが、「自分たちの作ったからかみ団扇の柄を使って近江町の役に立つものを何か作れないかな」ということでした。

いくつかの候補の中、作るものを考えていきますが、「これって本当に使ってもらえるかな?」「これはもらっても要らないよね」と生徒たち自身が試行錯誤を重ねます。そして買い物をした商品を入れる「紙袋」を作ることになりました。

大小ある紙袋に柄を一枚一枚手書きで塗っていき、出来上がった700枚ほどの紙袋に、自分たちで考えたキャッチコピー、「あなたが来るよ、おみちよは元気」というシール(神島印刷株式会社協力)を貼って、完成しました。近江町で商品を買ったお客様に、近江町の「あんや」という気持ちが伝わる紙袋、この紙袋は近江町のいくつかの店舗(よこい青果・岩内蒲鉾店・オーミスーパー、今後増える可能性があります)でお買い物をするともええます。ぜひお買い物をして、思いのこもった紙袋をもらってくださいね。



↑みなさんが作ってくれた紙袋やいただいた団扇などはお店で使わせてもらってます。ありがとう!

おみちよからみなさんへ

今回、近江町の人たちが試行錯誤しながら事業を作り上げる様子を目の当たりにし、子どもたちが近江町について考える授業をして頂きました。真剣に学んでいる様子がレポートやお手紙などから伝わって来て、委員会メンバー一同、目を細めて喜んでいました。私たちにとっても子どもたちに近江町を知ってもらおう大変良い機会であり、改めて、いい事業をみんなで創って近江町を盛り上げて行きたいと思いました。

これからも近江町はみなさんのための市場であり続けたいと思っています。ぜひまたお買い物に来てくださいね。いつでも待っています!

今の近江町もとっても楽しいトコロだけど、

もう少しこうだったらいいのにな!

point 1 営業時間がもう少し長いと嬉しいな

平日も近江町でお買い物をしたいんだけど、お父さん・お母さんも仕事に行っているし、自分も学校や習い事があつたりしてなかなか夕方までにいけません。もう少し営業時間が長いといいな。

point 2 駐車場がときどきでも無料だといいな

駐車場にお金がかかっちゃうと、ちょっともったいないな、と思ってしまいます。毎日無料はできないと思いますので、たまに「駐車場代無料の日!」みたいなことがあるといいな。

point 3 わかりやすい目印があつたらいいな

近江町の中は広くて、どこの通りも似たような道になっているので迷ってしまいます。それにトイレの場所や今自分がどこにいるかの目印がなくて困る時があるので、「これはここにあるよ!」「今ここにいるよ!」がわかりやすい目印があつたらいいな。

point 4 お店の人と顔をみながらお話ししたい

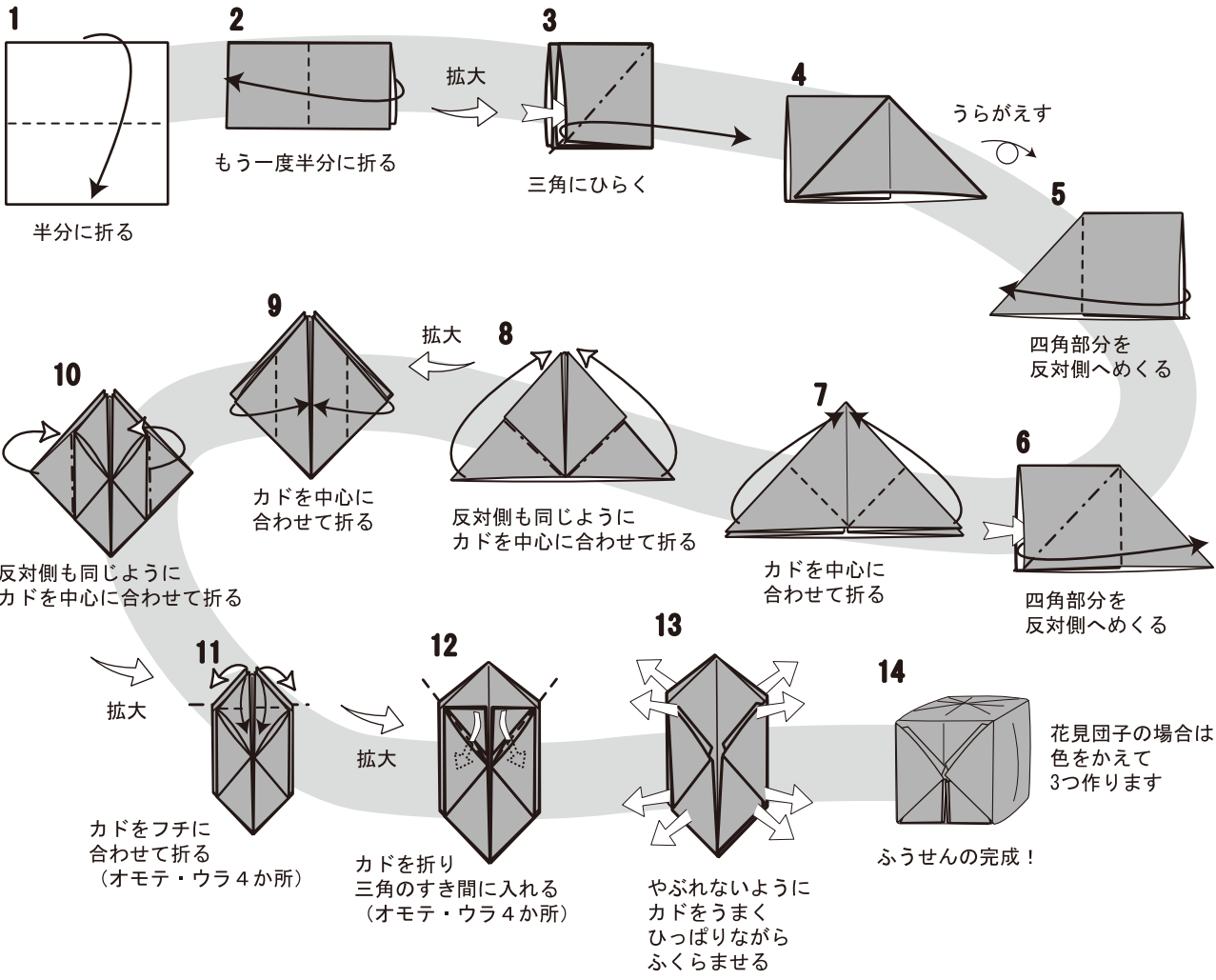
近江町に行ってお買い物をするとき、お店の人といろいろな話をするのが楽しいのですが、今はコロナ禍なので顔を見ながらのお話ができないのが残念です。早く笑顔でお話をしながらお買い物ができるようになったらいいな。

point 5 お店ごとの特徴を知りたい!

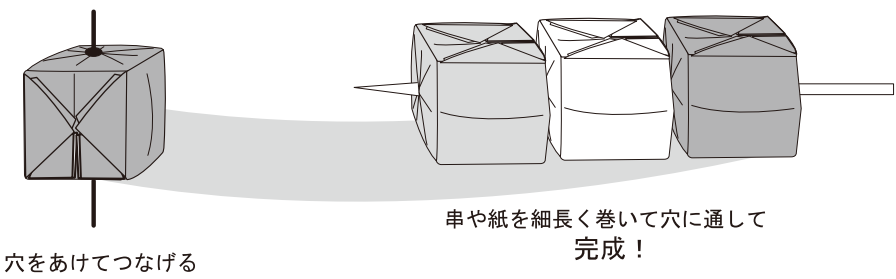
たくさんお店があって、どこのお店に行くか迷ってしまいます。初めてでも気軽にいろんなお店に行けるように、それぞれのお店の特徴がわかりやすくまとめられていると嬉しいな。

花見団子の作り方

創作・ふうせん(伝承折り紙)
推奨サイズ:7.5cm
使用枚数:3枚(不切正方形一枚折り)



花見団子の仕上げ方



折れると嬉しい折り紙シリーズ

花見団子

回を重ねるにつれて着実にファンが増えているおみちよのおりがみマンによる折り紙講座。今回は春ということで、団子を作ってみました。

団子は昔からある折り紙のひとつである「ふうせん」を繋げて作ります。色を変えて作れば花見団子に。一色で作ればみたらしく団子に。白色で作れば濃い緑で巻けば磯辺団子に。簡単にいろいろなバリエーションが出来るので、左ページの折り図と、よくわからない部分は動画にてご確認ください、ぜひ作ってみて下さいね!



—おみちよのおりがみマンこと紙文房あらきの荒木さん。折り紙をはじめ紙のことはなんでもお任せ!



見て・触れて・感じて・学ぶ。
近江町ならではの食育を。
それが、親子おみちよ体験です。



また一緒に料理しようね!

金沢市在住
小林さん親子

おみちよ体験どうだった?

前回応募したのですが、残念ながら落選し参加できなかったのが今回参加することができて嬉しかったです。毎週土曜日に近江町に買い物に来ていて、自分で魚を選んだりしています。今回は普段の買い物では見えない部分が見れたりしてとても楽しかったし、魚屋さんから買い物のポイントなどを教えてもらえました。これからまた近江町に買い物に来たいと思います。



みんなで楽しくおみちよで食育体験!

おみちよで旬を感じて旬を味わう



近江町市場マスコット
ちかちゃん・えっちゃんも遊びに来るかも?!

毎回満員御礼の大人気食育イベント

親子おみちよ体験

2021年の親子おみちよ体験は感染予防対策を行い
6月・9月・11月・2022年2月に開催予定!

近江町を歩き、とっておきの話を聞いて食に関するクイズを解いたり、
普段入れないところを見学したりする「おみちよ探検」と、
旬の食材を使った調理を通じて楽しく美味しく食の大切さを学ぶ「おみちよ料理教室」。

親子で一緒に旬を見て・感じて・そして味わいながら、
近江町市場のおもしろさ、奥深さ、そして食の大切さを学びませんか?

詳細は近江町市場ホームページをご覧ください

<https://ohmicho-ichiba.com/experience/>

コチラからアクセス



材料(4人分)

大根150g 白玉粉100g 金沢せり30g 油少々
たれ: 酢小さじ1/2 醤油大さじ2

1. せりは1cm長さに切り、大根はすりおろす。
2. すりおろした大根は水切りせず、白玉粉と混ぜる。目安はどろっと手から落ちるほど。その後、せりを加える。
3. フライパンに油を引き、タネをスプーンでひとつずつ落とす。焼き色がつくまで、中火で両面を焼いて完成。

レシピのポイント

今回は金沢せりを使いましたが、好きな具材をいれて楽しめるので季節の食材を入れてぜひ作ってみてください。表面はカリッと、中はもちもちの食感で具材の美味しさをお楽しみいただけます!

金沢せりの もちもち大根もち

カリッともちもちの
食感が美味しい一品

レシピ監修

料理研究家/フードコーディネーター

仕平 幹子さん

栄養士、フード&テーブルコーディネーター。
飾り巻き寿司マスターインストラクター。金沢市生涯学習講師。
全国マヨネーズ料理コンテスト準優勝

料理は楽しく美味しくできると幸せ。
四季の味で毎日の食卓が明るくなりますように!



近江町が力をあわせて、魚・野菜・肉・酒・
ファッションなどいろいろな分野の
プロの技をお教えします。

令和
3年度

近江町
ふれあい講座

参加者
募集!

近江町ふれあい講座

2020年7月より開催されている近江町ふれあい講座。毎回多くの方にご参加いただき、講師陣も嬉しく思っております。
新型コロナウイルスの対策をしつつ、2021年も魅力ある講座を開催していく予定です。興味ある講座をチェックしていただき、ぜひご参加ください。

近江町ふれあい講座の定員・時間・持ち物など詳細につきましては、近江町市場のウェブサイトをご確認くださいませ。



おみちよを育ててくれている人に聞きました。

第16回 大衆割烹 喜乃屋 きのや 住永 栄治さん

近江町市場との関わり

23年前、私が喜乃屋を継ぐことになった際、先代のお付き合いがあったお店にお世話になったことがきっかけで本格的で近江町で買物をするようになりました。

先代の体調が急に悪くなったため、心の準備や引き継ぎなどをほとんどできず、右も左もわからない状況の中、喜乃屋の三代目となりました。そんな当時26歳の若造にいろいろと教えてくれたのが近江町市場の人たちでした。「喜乃屋さんはいつもこれ買ってたよ」「今日こんな食材入ってるけど、どう？」など、いろいろな教えていただけて、本当に近江町のみなさんに育てられましたね。今では自分がどのようなものをどういう値段で欲しいのかを理解してくれていて、すし、その信頼関係で買い物をさせても

らっています。

それに料理人の方々に出会えたこともとてもありがたかった。当たり前ですが23年前はインターネットなんてない時代。技術的にわからないことを知るためには人に教わるか、自分で考えるしかなかった。しかし、自分で考えたり調べたりするには限度がありましたので、そんなときに近江町で出会えた料理人の方々からいろいろと教えてもらえました。歩いているだけで人に会えるというのも近江町市場の魅力の一つだと思いますし、そのために近江町に通っています。たし、それは今も変わりません。

今の若い人たちは情報を集めるのが上手で、私が知らないことを知っているの、最近私は私から声をかけて話を聞かせてもらい、いろいろ教えてもらえて楽しいですね。

近江町市場へ求めること

獲れる獲れないはあるにせよ、近江町には季節感がなくなってきたと感じる時があります。今年も白子が早くになくなってしまったな、という印象を受けました。

それから食材を買う際、大箱や大皿ではなく、ひと皿ごと、なんなら魚一匹という売り方もしてもらえたり、「〇〇産の魚、いつまでに欲しいんだけど」など機動力のあるリクエストに添えてもらえるとありがたいですね。辛いところに手が届く「さすが市場やな」と思えるようないろいろな状況に対応してもらえると嬉しいですね。

近江町市場のすごい部分

それぞれのお店が長い間お店を続けられているというところは本当にすごいことだし、家族と一緒に働いているお店も多い、それがいいなと思います。次の世代にバトンを渡していけるということは本当にすごいです。思いを継いで続けられることはお店があり続ける上で大切なことだと思っています。

お店はもちろん、近江町全体としてもそうですが、これまで何代、何百年と繋がってきた歴史には目に見えないものが積み重なって今があるということ、それはとてもない財産だと思っています。

今世の中で難しい部分も多いですが、これからも出来るだけ長く続けて欲しいです。いい部分は残し、時代にそぐわない部分は削り、しかしその根底にはこれまでの想いととも、近江町市場を未来へと繋げること、「やっぱり近江町ってエエよ！」という部分を誇り、全面に出していって欲しいなと思っています。



大衆割烹 喜乃屋
〒920-0856 金沢市昭和町5-7
TEL:076-221-8433
<https://www.kinoya-kanazawa.com>



金沢の食材を大切に、伝統を守り続けて70余年
活気あふれる笑顔と親しみ深い郷土料理で愛されるお店と
近江町市場の繋がりを聞きました

↑「きちんと仕入れ、丁寧に作る」昔から変わらず愛される味には愛される理由があります。♪昭和42年の味、価格にびっくりしますよね。今もその日・その旬の味わってもらえる料理が揃います。